

■ 銘柄: Energy ■

氏名: 越村 朋弘

## 商いは急がず時を待て



### ■ コメント ■

本日の東京ガソリン市場は、前日比-2,410円の48,830円で終了する。週末の海外安、そしてドル/円の円高基調を受け売り先行となる。その後もNY夜間が69ドル台で推移し、95円台まで円高が進行する中で、原油・製品ともに一段安といった展開となった。NY原油の2ドル近い下落を受け、そろそろ一度深い調整が入るのではとの警戒が必要となるだろう。5月以降の夜間立会開始により、取引時間の延長といった要素はあるにせよ、今年に入って一番長い陰線引けとなっている。

ローソク足は移動平均(25MA)で支えられた格好となっている。だが週末のNY原油同様に、転換線を大きく割れたことには十分注意が必要である。また、相対力指数はおよそ1ヶ月振りに50%を下回り、とても買える状況ではない。

直近高値となる6/18からのサイクルで考えれば、目先の変化日は6/24と思われる、そこまでは今の調整といったトレンドが継続しそうだ。下値のめどを移動平均(50MA)とするが、目先を売るのも危険と思われる。

現状は静観とし、買い場探しといきたいところ。「商いは急がず時を待て」である。(17:44記 越村)

### ■ テクニカル ■

基準線(26)	47,585円
転換線(9)	50,935円
移動平均(25MA)	48,480円
移動平均(50MA)	45,845円
RSI(9)	43.23%

### 商品先物取引のリスク

商品先物取引は、期限・レバレッジのある取引です。取引証拠金の額に比べ約15倍から約40倍という著しく大きな金額の取引を行うため、日々の値動きにより、短期間の間に大きな利益・大きな損失を被る可能性があります。

詳細につきましては、PremiumClubメニュー左下に掲載されている「取引の重要事項」をご確認ください。